

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

- 委員長 伯爵徳川 達孝君
 副委員長 辻 新次君
 委員
 子爵大宮 以季君 子爵牧野 貞寧君 男爵野村 素介君
 男爵野田 豁通君 男爵藤枝 雅之君 中島 永元君
 伊澤 修二君

明治四十年三月二十五日(月曜日)午前十一時三十分開會

○委員長(伯爵徳川達孝君) ソレハ此市町村立小學校教員退隱料及扶助料法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、例ニ依リマシテ政府委員ヨリ本案ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 大體ノ趣意ヲ申上ゲマシテ尙ホ委シクハ御質問ニ依テ御答ヲ致スコトニ致シタト思ヒマス、從來ノ小學校教員ノ退隱料ハ官吏ノ恩給ト略シ、同一ノ趣旨同一ノ割合テ出來テ居リマス、即チ十五年ニシテ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ得マス、其時ノ退隱料ハ俸給ノ四分ノ一デアリマス、ソレカラ其以後ハ在職ノ年數ニ應ジテ退隱料ノ額ガ殖エテ參リマシテ在職四十年ニ至テ止ム、四十年ニ至テドレダケニナルカト申シマス、俸給ノ約二分一強ニナルノデアリマス、委シク申シマス、然ルニ二百四十分ノ八十五ニ至テ極度ニ達スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ小學校教員ノ俸給ハ甚ダ菲薄デアリマスカラシテ、是ト同ジ割合デアリマシタナラハ老後ノ安心ヲシテ其職ニ身ヲ託スト云フコトガ出來カネルト云フ趣意ヨリ致マシテ……此改正案ニ依リマス、最初ニ受ケル所ノ退隱料ノ額ハ即チ同一デアリマシテ、十五年ニハ四分ノ一デアリマスガ、其増シ方ガ從來ヨリハ餘ホド多クナリマシテ、在職四十年ニ至リマスト俸給ノ約三分ノ二ニナルノデアリマス、即チ最後ノ所テ申シマス、ソレト云フト從來ノ恩給額ヨリハ殆ド二倍ニナル、即チ俸給ノ二百四十分ノ百六十ヲ受ケルコトニナリマス、從來ノヨリ二倍ニ致スト少シ足リマセヌガ約二倍ト申シテ宜カラウト思ヒマス、ソレデ十五年以後ハ在職スル年數ニ應ジテ其率ガ増シテ參リマス、五年毎ニ階段ヲ設ケマシテ、十五年カラ二十年ニ至ル間ハ二百四十分ノ一ツ、増スコトニ致シマス、丁度從來ハ二百四十分ノ一ツ、増シテ參リマシタモ、デアリマスカラ、其五年間ハ二倍ニナルノデアリマス、ソレカラ二十年カラ二十五年迄ノ五箇年ノ間ハ更に一ツ加ヘマシテ二百四十分ノ三ツ増ス、從來ノ増シ方ニ較ベマス、ソレカラ二倍ニナル譯デアリマス、ソレカラ二十五年カラ三十五年マデノ間ハ又一ツ増シマス、ソレカラ二十年カラ三十五年マデハ又一ツ増シテ從來ノ五倍ニナリ、最後ノ三十五年カラ四十年ニ至ル五年間ハ一ツ増シマシテ二百四十分ノ六、即チ從來ノヤリ方ニ較ベルト六倍ノ増デアリマス、結局四十年ニ至リマス、二百四十分ノ百六十ト云フ割合ニナルト云フ譯デアリマス、斯ノ如ク致シマシタナラハ小學校教員ノ俸給ハ假令ヒ少イトハ申シナガラ、幾分カ老後ノ安心ヲセシムルコトガ出來ルデアラウ、之ニ依テ小學校教員ヲ一生涯ノ仕事トシテ安シク其職ニ服

スト云フ精神ヲ惹起スコトガ出來ルデアラウト云フ趣意カラ唯今申上ゲマヌヤウナ割合ニ進ンデ參リタト云フ次第デアリマス、ソレカラ尙ホ此現行ノ規定ニ較ベマシテ進ミマシタ點ハ新ニ設ケマシタ第四條ノ二ト云フノハ官吏恩給法ヲ適用シテ居ルノデアリマス、其中ノ一部分ハ從來モ適用シテ居リマスガ小學校教員ニ適用スルニ及ブマイト思フテ從來ノ規定テハ適用イタシテ居ラナカッタ箇條ガアリマス、ソレハ從軍シタ時ニ其從軍中モ之ヲ加算スルト云フコトハ一般ノ官吏ニハ有リマスガ、小學校教員ニハ無カッタデアリス、ソレヲ從軍シタ際ニハ其年數ヲ恩給年限ニ加算スルコトニ致シマシタ、是ハ單リ小學校教員ニ厚クシタノデアリマセヌガ、從來ハサウ云フ規定ハ無カッタノデアリマス、ソレカラ又官吏ノ方テ公吏ニ選バレタ爲ニ、市町村長ニ當選ニナツタ爲ニ官職ヲ退イタ時ニハ、矢張り恩給ハ十五箇年以上デアリマスレバ恩給ヲ一時受ケル權利ヲ生ジタモデアリマス、ソレモ從來ハ小學校教員ニハサウ云フ場合ガ無イト云フ位ニ考ヘマシテ適用シテ居リマセナカッタガ、今度ハ其箇條ヲ適用イタシマシテ、即チ往々此小學校教員或ハ校長ヲ長クシテ居リマシテ、市町村長、助役等ニ選バル、者ガアリマスノデ、ソレ等モ其際ニ矢張り恩給ヲ受ケルノ權利ヲ失ハヌト云フコトニ致シマシタ、是モ從來カラ見ルト少シク割合ノ都合ガ能クナツタ點ト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ點ハ第十二條デアリマスガ、前項ノ扶助金ハ退職給與金ノ額ト同額トス」ト云フコトニナリマシタ、此扶助金ト申シマスノハ、小學校教員ガ在職中ニ死亡シタ際ニ其遺族ニ支給イタシマス、從來ノ割合ハ小學校教員ノ方ハドウ云フモノカ、官吏ナド、少シ……官吏トハ同ジデアリマシタガ、寧ろ其在職中ニ退職シテ貰フト云フ金ヨリモ死亡シタ爲ニ貰フ金ガ少イト云フコトニナツテ居リマスカラ、退職シタト同ジヤウニ支給スルト云フコトニ致シマシタ、是ハ從來ヨリハ餘ホド割合宜ク致シタ譯ニナルノデアリマス、テ尤モ此二ツノ點ハ極些細ナ點デゴザイマシテ主トシテ第四條ノ別表ニ依テ決定ムルト云フ、ソレニ依テ恩給退隱料等ノ率ヲ宜ク致シタト云フ點ガ本案ノ骨子トナルノデアリマス、ソレカラ其他ノ點ニ付イテ尙ホチヨット申上ゲテ置キマスレバ現行ノ規定ヨリ少シチヨット見マス、ソレト云フコトニナツテ居リマス、第四條「退隱料ヲ受ケル者前ニ退職給與金ヲ受ケタルトキカハ最初ノ十年間其ノ退職給與金ノ十分ノ一二相當スル金額ヲ退隱料年額ヨリ控除ス」ト云フ規定ヲ新ニ設ケマシタ、是ハ從來ナイ規定デアリマス、退職給與金ハ一旦貰ヒマシテモ其人ガ再び奉職シテサウシテ十五年以上ニナリマスレバ恩給ヲ受ケル權利ガ生ジテ居ッタノデアリマス、此度ノ改正案ニ於キマシテハ若シ退職給與金ヲ前ニ受ケタ場合ニハ其金額ノ十分ノ一ヲ十箇年ノ退隱料ノ中カラ差引クト云フコトニ致シマシタノデアリマス、是ハ從來ヨリハ少シ教員ヲ薄ク取扱フヤウナ工合ニ見エマス、實ハ今日ノ有様ヲ見マス、ト云フ、弊害ト申スベキヤウナ有様デアリマシテ、在職十二四箇年ニナリマスト云フコト全ク小學校教員ヲ罷メルト云フ考テナクシテ、一旦罷メテサウシテ復々出ヤウト云フ考カラシテ罷メル、其罷メル目的ハ一時退職恩給金ヲ受ケヤウト云フ考テ罷メルト

貴族院市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

明治四十年三月二十五日

云フコトモ往々アリマスノデ、極誠實ニ十數年間一日ノ如ク勤メテ居ッ者ハ退隱料ヲ受クル、併シサウ云フ考ヲ以テスル者ハ曾テ退隱料ヲ受ケテソレカラ又恩給ヲ受ケテ居ルコト云フコトナリマス、現ニ東京市ノ如キハ非常ニ其弊害ニ堪ヘナイト云フヤウナ有様アリマス、元々退職給與金ヲ給スルノハ元ト從來勤メテ居ッ者ケレドモガ他ノ業務ニ轉ズル、已ムヲ得ズシテ退職スルト云フ、一生涯教員ヲヤラヌト云フ考ヲ以テ退職シタ者デアリマス、ソレ故ニ退職給與金ト云フモノヲ支給スルノデアリマスガ、再ヒ出タ人ハ其金額ヲ恩給ノ中カラ控除スルト云フコトニ致シマシテモ誠實ニ小學校教員ヲヤッテ居ル者ニ對シテハ何等ノ影響ハ無イノデアリマスカラ、或ル點ニ於テハ弊害ヲ防グト云フコトニモナッテ宜カラウト考ヘマス、斯ウ云フ箇條ヲ新ニ設ケマシタ、ソレカラモウ一ツノ點ハ第五條ノ改正デアリマス、從來ノ規定ニ據リマスルト云フト、官吏ノ恩給ト違ヒマシテ、退隱料ノ方ハ、退隱料ヲ受ケテ、サウシテ尙ホ其後ニ奉職シマスレハ其奉職シタ時ノ俸給ノ額ガ從前ノ俸給ノ額ヨリ少シシテモ少ケレバ其俸給ト退隱料ト合セ得ルト云フコトニナッテ居ッタノデアリマス、官吏ノ方ハ一旦公務ニ付キマスレバ其恩給ノ支給ヲ停止シマスルケレドモ、教員ノ方ハ退隱料ト俸給ト合セ得ルト云フコトニナッテ居ッタノデアリマス、此度ノ改正案ニ於キマシテハ、合セ與フルケレドモガ、若シ退隱料トソレカラ受クル所ノ俸給ノ額ヲ合セマシテ其金額ガ從前ノ俸給額ヨリモ多クシタ時ニハ其多シク其差額ガケノ支給ヲ停止スルト云フコトニ致シタノデアリマス、是モ實際ニ於テハ多少弊害モ生ジテ居リマシタ、殊ニ此退隱料ハドコノ財源カラ出ルカト申シマスレバ府縣ノ金庫カラ出テ居ル、ソレデ町村等ニ於テ退隱料ヲ受ケル年限ニ達シマスルト云フト、才前ハ一旦退イテ退隱料ヲ受ケ、サウシテ少シ從前ノ俸給ヨリモ下ッテ再ヒ奉職スレバ實際ニ於テハ俸給トシテハ下ッテモ實際得ル所ハ退隱料ヲ合ハセレバ多クナルト云フヤウナコトデ退職シ、其退職シタノハ全ク教育社會ヲ退職シタノデアリ、退隱料ヲ得、又再ヒ就職スル積リテ退職シテ居ルト云フ者モ段々ニ増加スルノデアリマス、從前ノ俸給ト比較シテ此差額ヲ停止スルト云フコトハ決シテ不都合ナコトデナイ、或ハ相當ナコトデハナイカト云フノデアスウ云フ箇條ヲ設ケタノデアリマス、此二ツノ點ハ從來ノ規定ニ較ベマスルト却ッテ冷酷ニナッダヤウニ考ヘマスガ、先刻來申上ゲマス通りニ極誠實ニヤッテ居ル人ニ對シテハ何モ關係ガ無イノデアリマスカラシテ寧ろ適當ナ改正ハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、其他ノ箇條ハ格別實質ニハ關係ガゴザイマセヌノデ、退隱料ノ額ヲ斯ウ云フヤウニ定メタ自然ノ結果、或ハ不必要ニ繁文ヲ省略スルト云フヤウナ趣意至當ノ改正アルノデアリマス、終ニ此額ニ恩給退隱料ノ割合ヲ殖ヤシタナラバ大變ニ負擔ガ重クナルデアラウト云フ御疑モアルカト思ヒマス、其點ニ付イテ申上ゲテ置キマスガ、實ハ此ノ如クニ其致シマシテモ國庫ノ負擔スル所町村ノ負擔スル所府縣ノ負擔スル所ハ餘リ變ラナイト云フ考デゴザイマシタ、御承知ノ通り小學校教員ノ退隱料ハ三ツノ財源カラ出テ居リマス、市町村ノ納付金、ソレカラ國庫ノ交付金、ソレカラ府縣ガ市町村ノ國庫カラ出シタ金ヲ足ラヌ場合ニハ不足ヲ補フト云フ、此三ツノ金庫カラ出テ居ルノデアリマス、其孰レニ於テモ餘リ負擔ハ重クナルト云フコトハナイト云フ考デゴザイマス、ソレハドウ云フ譯デアアルカト申シマス、現在退隱料ヲ小學校教員ガ貰ッテ居ル者ハ凡ソ何年ケラ非デ退職シテ居ルモノデアアルカト云フコトヲ調ベテ見マス多クハ十五年或ハ十六年、十七年ト云フ

ヤウナ者ガ殆ド半數以上ニナッテ居ルノデアリマス、即チ退隱料ヲ受クル權利ガ生ズルヤ否ヤ、退職スル者ガ多數デアルト見ナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ此改正案ガ幸ニ成立チマシテ其目的ヲ達スルト云フコトニナッテ多クノ教員ハ長ク在職スル、從來十六七年デ退職シタ者ガ三十年モ或ハ希望スル如ク二十四年モ在職シテ居ル、サウシテ後ニ退職シテ割合ノ良イ退隱料ヲ貰フト云フコトニナリマスレバ一時ニ給スル年額ハ多クハナリマスガ、其人ノ一生ノ間給スル年限ガ大ニ短縮スルコトガ出來ルト云フノデ、結局經濟ノ方法デアラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス、大體ノコトヲ申上ゲマス、尙ホ御質問ニ依ッテ御答ヲ致シマス

○男爵野田翰通君 私ハ此改正法律案ヲ受取リマシテ未ダ現行法案ニ就キマシテ十分ナ調査ヲ致ス暇ガゴザイマセヌ爲ニ少シ御尋ネノ事柄ガ分リ切ッヤウナコトデアラウトハ存ジマスガ一應御尋ネヲ致シマス、唯今御説明ノゴザイマシタ退職給與金ハ是ハ十五年以上ノ退隱料ヲ受ケマス資格ノ無イ者ニ給シマス金額デゴザイマスガ、其事柄ヲ……

○政府委員(澤柳政太郎君) 退職給與金ハ、十五年未滿ニシテ退職シタ者ニ給スル、即チ退隱料ヲ受クルマダ年數ニ達シテ居リマセヌ者ニ給スル譯デゴザイマス

○男爵野田翰通君 尙ホ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、此ノ退隱料ヲ支給シマス場合ニ唯今御説明ノゴザイマシタ此退職給與金ノ十分ノ一ニ當ル金額ヲ十年間控除スルト云フコトデゴザイマスガ、此十年間ト云フ者ノ標準ハドウ云フ所カラ此十年間ト云フ計算ガ立デアリマスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) 詰リ退職給與金トシテ給與シタ金額デスナ、ソレダケノ金額ヲ十年間十分ノ一ツ、取ルト云フコトニナリマス、例ヘバ退職給與金ヲ百圓ヤリマスレバ其十分ノ一即チ十圓ツ、十年間此ノ退隱料ノ中カラ差引ク、畢竟十年間其人ガ生存シテ居リマスレバ從前貰ッテ給與金ノ百圓ヲ差引カレルト云フコトニナリマス

○男爵野田翰通君 分リマシタ、此官吏恩給ヲ受ケテ居リマス者ガ其後教員ニナルトカ或ハ教員ニシテ十五年以上勤メマシテ退隱料ヲ受ケマシタ者ガ又他ノ文官ノ資格ノアル職務ヲ奉ジマシテ恩給ヲ受ケル、斯ウ云フヤウナ場合ニハ恩給ト退隱料ハ兩方共ニ受ケマス權利ヲ得マスノデアリマスカ、サウ云フ資格ノ者ガアリマシタ場合ニハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) 教員カラシテ教育ニ關スル文官ニ轉任シタ場合ニハ通算イタシマス、或ハ教育ニ關シテ居ル文官カラ教員ノ方ニ轉任シタ時分ニハ其ノ雙方ノ勤務年數ヲ通算スルコトニナッテ居リマス、併シ教育ニモ何ニモ關係シナイ官吏ニ轉任シタ場合ニハソレハ通算セズシテ別々ニ計算イタシマス、既ニ小學校教員トシテ恩給ヲ受タル年數ニ達シテ居ル其者ガ教育ニ關スル文官ニ轉任シマスレバ、サウシマスレバ其前後ノ年限ヲ通算シテ恩給ノ額ヲ與ヘルト云フコトニナル、ソレカラ教育ニモ何モ關係ノ無イ官吏ニ轉任シタ、既ニ小學校教員ヲ十五箇年勤メテサウシテ恩給ヲ受ケテ居ル、サウシテ更ニ農商務省ノ人ニナッタ、内務ノ人ニナッタト云フコトデ、十五箇年勤メマス、其時ハ今度ノ恩給ト云フモノヲ受ケ得ル、サウ云フ場合ニハ現在ノ規定ニ依ルト、實際ハ殆ドアリマセヌケレドモ、矢張り兩方ヲ受ケルト云フヤウニナリマス

○男爵野田翰通君 分リマシタ、衆議院ノ方デ退隱料ノ別表ニ付イテ修正ヲ加ヘテア

リマサウニ見エマスガ、此修正ハ二十五圓以上カラ四十圓未滿迄ノ三區畫ニ付イテ修正ヲ加ヘテアルヤウニゴザイマスガ、其他ノ區畫ニ於テハ別ニ修正ノ點モ見エマセヌガ、殊サラ此ノ唯今申シマシタ二十五圓以上四十圓未滿迄ニ付イテ修正ヲ加ヘタト云フ理由ハドウ云フ理由デゴザイマスガ、此點ニ付キマシテハ矢張り政府ハ御同意ニナッテ居リマスカ、チヨット伺ヒマス

○伊澤修二君 チヨット私ハ今ノ御質問ト同時ニ願ヒタイ、此別表ノ御説明ヲ一ツ願ヒタイ、サウシテ衆議院ノ修正ニ御同意ニナッテ云フナラバ、ドウ云フ御考デ御同意ニナッタト云フコトヲ合セテ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(澤柳政太郎君) 先ヅ最初ニ此表ヲ御説明申上ゲマスガ、一番初メニ十五年トシテアリマス所ニ付イテ申シマスルト二百二十五圓トシテアリマス、詰リ七十五圓ノ俸給年額ノ四分ノ一ニ當ルノデアリマス、即チ年ニ九百圓デアリマス、ソレヲ四分シタモノガ二百二十五圓、次ハ百九十五圓、六十五圓ト云フモノヲ押ヘテ六十五圓ノ年額ノ四分ノ一ト云フ工合ニ三十圓ノ所マデ……元ノ三十圓ノ所マデハサウ云フヤウニナッテ居ルノデアリマス、二十五圓以上三十圓未滿ト云フノデスナ、ソコノ所ハ二十五圓ノ年額ハ三百圓デアリマス、其四分ノ一ハ七十五圓ニナルノデ、ソレガ八十一圓ニナッテ居ルト云フノハ二十五圓以上三十圓未滿ハ小學校教員ノ俸給ハ或ハ二十六圓ト云フコトニナッテ居リ、或ハ二十八圓ト云フモノモアル、此所ノ段ハ二十五圓以上三十圓未滿ト云フノデ、其中ヲ取ル積リデ二十七圓ト云フヲ押ヘタノデ、二十七圓ノ年額ノ四分ノ一ハ八十一圓ニナル、二十圓以上二十五圓未滿ト云フノハ二十圓ヲ押ヘタノデナク二十四圓ト云フ俸給ヲ押ヘテ、二十四圓ノ年額ノ四分ノ一ガ七十二圓、十六圓以上二十圓未滿ト云フノハ二十圓ト云フ此多イ方ヲ押ヘマシタ、十五圓未滿ト云フノハ十五圓ノ年額ノ四分ノ一ハ四十五圓ニナリマス、ソレヲ四十八圓ト致シマシタノハ是ハ小學校教員ノ退隱料ノ項ニ於テハ最低ノ退隱料ニナルノデアリマス、即チ一箇月四圓、四十八圓ト云フノハ丁度十六圓ノ俸給ヲ取ツテ居ル者ノ四分ノ一ニナルノデアリマス、サウ云フ工合ニ三十圓マデノ所ハ何圓以上何圓未滿ト云フ其低イ方ノ俸給ヲ押ヘテ基礎トシテ其四分ノ一ト云フモノニ致シマシタ、二十五圓以上三十圓未滿ト云フモノハ其間ノ二十七圓トナリ次ハ二十四圓トナル、十五圓以上二十圓未滿ト云フノハ其二十圓ト云フ高イ方ヲ取リ十六圓未滿ト云フノハ若シ俸給カラ割出スト云フト十五圓デハナイ十六圓出スト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、以下ノ十六、十七年ト云フノハ四拾五入ニシテ、幾ラカ違ッテ居リマスガサウ云フ趣意デ五年毎ニ先刻申上ゲタヤウニ率ガ上ッテ行クノデアリマス、ソレカラ衆議院ノ修正ニ付キマシテ見マスルト、極下カラ御覽ヲ願ヒマスガ四十八圓ト六十圓ノ差ハ十二圓、六十圓ト七十二圓ノ差ハ十二圓、然ルニ其上ノ八十一圓ト七十二圓ノ差ハ九圓トナリ、九十圓ト八十一圓ノ差ハ九圓トナリ、其以上百五圓ト百二十圓ノ差ハ十五圓ニナリマス、此十五圓ノ差デ上迄參ッテ一番上ノ段ハ最後ノ段トシテ差ガ二十圓ニナルノデアリマス、之ヲ一言ニシテ申シマスレバ先ヅ三十圓ノ差ハ別トシテ申サズ、十五圓ツ、ノ差デ降ッテ來テ中途ニ九圓ノ違ヒガ二段アリ、終ニハ十二圓ノ差ガ二段アルト云フコトニナッテ居リマス、ソレハドウモ少シカシイト云フヤウナ論カラシテ衆議院ノ修正ニ依リマスト即チ修正シタ一番上マデ其上マ

デハ十二圓ツ、ノ差デ上ッテ行キ、ソレカラ十五圓ノ差、最後ハ三十圓ノ差デ上ッテ行ク、サウ云フヤウニシタ方ガ宜クハナイカト云フノデアサウ云フコトニナリマス、何故原案ニ於テハ中途ハ九圓ノ差デ上ノ方ノ十五圓ハ分ッテ居ルガ下ノ十二圓ノ差ニナルノハドウ云フ譯カト申シマスト先刻申シマシタ、丁度訂正ヲシタ中ノ段三十圓以上三十五圓未滿ト云フノハ三十圓ト云フ額ヲ押ヘテ九十圓ト云フ金額ガ出テ參ッタ、ソレカラシテ二十五圓以上三十圓未滿ト云フノハ二十七圓ト云フ俸給ヲ押ヘテ、三十圓ト二十七圓ノ差デアリマスカラ其差ハ三圓ノ差ニナルノデアリマス、然ルニ其次ノ二十圓以上二十五圓以下ハ二十四圓デ矢張り其差ガ三圓ニナル、然ルニ下ノ方ノ十五圓以上二十圓未滿ト云フノハ一方ハ二十四圓ヲ押ヘテ一方ハ二十圓ヲ押ヘテ居ルカラ其差ガ四圓ニナル、下ノ方ハ十六圓ヲ押ヘタコトニナリマスカラ、其差ガ四圓ニナリマス、ソレデ一番下ト二段目ノ差ハ四圓ノ俸給ノ差ヲ押ヘテ中ノ方ハ三圓、ソレカラ五圓ツ、最後ハ十圓、七十五圓ト六十五圓デアリマスカラサウ云フニナッテ居リマス、表デ見ルトカシイコトニナリマス、ソレヲ衆議院ノ方デハ中途ヲ直シタ、中位ノ所ガ多クハ、教員ノ居ル所デアアル、ソレノ割合ガ悪ク見エルノハ面白クナイカラト云フノデ修正ヲ致シマシタノデアリマス、決シテ此間ノ教員ヲ薄ク待遇スルト云フ譯デハナイ、寧ロ下ノ方ガ餘ホド厚クナリ過ギルト云ツタラ弊ガアルカ知レマセヌガサウ云フ趣意カラ中途ガ少シ薄ク見エルヤウナ結果ニナッテ參ッタノデアリマス、成ルベク原案ヲ思ヒマシタガ、強ヒテ反對スル程ノコトデアアリマセヌカラ同意ヲ表シタヤウナ次第デアリマス

○男爵野田幹通君 伊澤サンニ御諮リヲ致シマスガ、表面ニ付イテ何か御質問ガゴザイマスレバ、御譲リヲ致シマスガ、私ハ今一項御尋ネヲシタイノデアリマス

○伊澤修二君 能ク分リマシタカラモウ御尋ネハ致シマセヌ

○委員長(伯爵徳川達孝君) 野田サンニチヨット御諮リ致シマス、私モ表ニ付イテ御尋ネシタイノデアリマスガ、……此御提出ニナッテ所ノ別表デナクシテ唯今御配付ニナッテ蕪蕪版摺ノモノデ、今請取ッタバカリデアリマスカラ熟讀スル暇モアリマセヌ、甚ダ妙ナ御尋ネカ知レマセヌガ之ヲ見マスルト、此修正ノトハ大分御書キ加ヘガ違ッテ、唯一級二級三級四級ト云フ工合ニナッテ居リマス、ソレデ特別ト云フノヲ今度御取リニナッテ、現在ノ一級ノ上ト云フモノト特別ノ一番上ノモノト合シタヤウナ譯ニナッテ居リマシテ、特別ノ方カラ見マスト十五年ノガ二百圓ト云フコトニナル、コチヲハハ七十五圓以上百圓以下デアッデ二百二十五圓トナル、大分コ、ニ差ガゴザイマスガ、此ノ差ノ點ハドウデセウカ、先刻ノ御話ノ通り上ノ方ヲ少シ薄クシテ下ノ方ヲ比較的ニ厚クナスツタ爲ニ斯ウ云フヤウナ事ガ出來タノデスカ、何かソコニハ御理由モアルデセウカ、チヨット伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 現在ノ規定ニ依リマスト小學校ノ教員ノ最上級ハ七十五圓ト云フコトニナッテ居リマス、尙ホ其上ニ特別ノ功勞ノアル者ハ漸次上ホセテ百圓マデ給スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、實ハ七十五圓トカ、モウ少シ下リマシテ六十五圓デアリマストカ、其位ノ俸給ヲ取ツテ居リマスレバ、退職シタ時分ニ其率ガ縱ニ三分ノ一デアッテモ相當ノ額ト言ハナケレバナリマセヌ、他ノ判任官等ニ致シマシテモ中ノ七十五圓六十五圓ト云フヤウナ上級ヲ取ツテ居ル者ハ少イノデ、或ハ

高等文官ニ致シマシテモ年俸六百圓以上デ、五十圓ノ高等官モアルヤウナ譯デアリマス
カラ、上ノ方ノ率ハ實ハサウ非常ニ高クスル必要ガ、アリトシテモ其場合ハ少イノデアリマ
ス、七十五圓ノ俸給ヲ取ツタ者ニ、七十五圓ノ俸給ヲ基礎トシテ退隱料ヲ算出スルト
云フコトハ他ノ權衡上等ニ於テ適當ナコトデアラウト云フヤウニ考ヘマシタ、一例
ヲ申上ゲマスレバ、七十五圓取ツタ者ガ四十年勤メテ退職スルコトニナリマスト六百圓ノ
退隱料ヲ貰フ、此六百圓ノ退隱料ト云フモノハ他ノ文官ニ較ベマスト即チ千八百圓
取ツテ居ツタ者ガ四十年勤メテ貰フ所ノ金額ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
百圓取ツテ居ツタ人トシテモ六百圓貰フト云フコトニナリマスレバ他ノ文官ノ千八百圓
取ツテ居ツタ人ニ丁度對スルヤウナ譯デアリマスカラシテ七十五圓ヲ標準トシテ不適當ナ
コトデアナカラウト云フ趣意カラ致シマシテ、ソレニ尙ホ現在ノ恩給ノ割出方ハ俸給ヲ基
礎ト致シマシテ其俸給ガ二十一圓デアラナラバ其何分ノ一ト云フヤウナ工合ニナツテ參
テ居リマス、ソレハ執務上ニ於テ甚ダ煩雜デアリマスカラ五圓位デズト切ツテ參ツタ方
ガ宜クハナイデアラウカト云フコトデ簡略ニスル爲ニスウ云フヤウニ致シマシタノデアリマ
ス

○男爵野田豁通君 モウ表ノ方ハ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵德川達孝君) 宜シウゴザイマス

○男爵野田豁通君 此改正案ノ御趣旨ハ先刻御説明ガゴザリマシタ通り教員ノ退
隱料ヲ厚クシテ成ルベク此教員ガ其職ニ安シテ奉職スルヤウニナリタイト云フ目的
ゴザリマセウト存シマスガ、就キマシテ先刻ノ御説明ノ中ニ別表ノ如ク退隱料ノ率ヲ改
正シテモ負擔ノ金額ニ於テ格別ノ重イコトハ無イト云フコトデアリマスガ、其點ニ付
イテ少シ私ハ分リ兼ネルノデアリマス、段々説明ノゴザイマス通り率ノ割合ト云フモノハ
現行ノ率ヨリ餘ホト宜シクナツテ居ル、又畢竟成ルベク厚クスルト云フ方ノ改正ノ目的カ
ラ此率ノ増加ト云フコトモ算當ニナツテ居ルノデアラウト思ヒマス、果シテサウデアリマスレ
バ此退隱料ト云フモノハ漸次年ヲ逐ウテ増加スルト云フコトハ必然ノ結果デアルト思ヒ
マス、増加ヲシナケレバ何モ改正シテ率ヲ増スノ必要ハナイ、ソコデ國庫ト町村トノ分
擔、負擔ガ格別今日ヨリ重クナラナイト云フコトガ少シ了解シマセヌノデアリマス、相互
ノ負擔ハ増サナイ格別重クナラナイト云フ理由モウ少シ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(澤柳政太郎君) 負擔ガ餘リ増サヌト云フコトヲ申上ゲマシタノハ詰リ本
案ノ精神ガ十分ニ貫徹スルト云フコトニナリマスレバ、今マデハ在職十六七年、或ハ十
七八年テ退職シタモノガ、長ク在職ヲシテ後ニ初メテ退職スルト云フコトニナリマシタノ
ガ即チ本案ノ目的ヲ達シタト申スノデアラウト思ヒマス、サウ云フコトニナリマスレバ一人
ノ受クル所ノ退隱料ノ額ハ多クナリマシテモ其人ガ受ケテ居ル年數ガ短クナル、例ヘバ三
十……ト云フモノハアリマセヌガ、四十ニシテ從來ハ退職シタモノガ六十マデハ奉職ヲ致
シテ居ル、六十ニシテ初メテ退職スルト云フコトニナレバ則チ二十年間ダケハ退隱料ヲヤ
ラスニ濟ム、其人ノ六十ニナツテ居ル退隱料ノ額ハ多クナツテ居リマシテモ二十年間退隱
料ヲヤラヌデ濟ムト云フコトニナリマスカラ、結局餘リ増加ヲ致サヌト云フコトヲ申シタノ
デアリマス、併ナガラ本案ガ出來テ、此通りニナリマシテモ餘リ在職年數ニ關係ガナク
テ矢張り十六七年位テ多クハ退職スルト云フコトニナリマストサウ云フ時ニハ幾ラカノ退

隱料ノ額ハ増サナケレバナリマセヌ、即チ從來ハ……茲ニ一例ヲ取ツテ申シマスレバ十六
年ニシテ退職ヲシテ退隱料ヲ受ケマスト、二百四十十分ノ六十一ダケ退隱料ヲ貰ツテ
居ツタ所ガ今度ノ新シイ案ニ依リマスレバ十六年ニシテ退隱イタシマスレバ二百四十十分ノ
六十二ヲ貰フト云フコトニナリマスカラ、二百四十十分ノ六十一ト二百四十十分ノ六十二
ダケノ差ト云フモノハ退隱料ガ殖エルコトニナリマス、十七年經テ退職シタ場合ヲ、現
在ノ規定ト新シイ規定トヲ較ベテ見マスレバ、二百四十十分ノ六十二ト二百四十十分ノ六
十四ト云フ割合ニナツテ、ソレダケガ現在ヨリ餘計ニ出サナケレバナラヌト云フコトニナルノ
デアリマス、其増シ方モ先刻少シ冷酷ニ見エルヤウナ改正ガアルト申シマシタ、第四條
ノ三項退職給與金ヲ控除スル、又第五條ノ給料ト退隱料トヲ合セタ金額ガ退職現時
ノ給料額ニ超過スルトキハ其差額ニ相當スル退隱料ノ支給ヲ停止スル云フヤウナコ
トカラ差引キシテ格別多ク違ハヌデアラウト云フ趣意デアラシマシタノデアリマス、詰リ退
隱料ヲ率カラ申シマシタラ本案ノ通りニナツテモ矢張り餘リ效能ガ無カッタ、十六年ト七
ト九ト云フ所テ退職シテ見マスレバ退隱料ダケノ額ハ増シテ行クニ違ヒナイノデアリマス
ガ、其外差引キ退職給與金或ハ恩給退隱料等ノ差額ノ停止カラシテ斯ウ云フ計算ガ
起ル、ソレカラ本案ノ目的ガ完全ニ達シタ場合ヲ考ヘマスト詰リ多クノ金額ヲ一人デア
ケル恩給ノ金額ハ受ケテモ年數ガ少イト云フ點カラ餘リ増加スルト云フコトハ無イト云フ
考デアリマス

○男爵野田豁通君 分リマシタ

○辻新次君 チョット御尋ネシタイデスガ、此十五圓未滿トアリマスノハ、何か未滿ト
言ツテモドノ位井以上ト云フヤウナ御決メガ有リマスガ、ソレハ十圓デモ、八圓デモ宜イト云
フコトデアリマスガ、所デア現行、私ハ現行法ヲ讀ミ損ジテ居ルカモ知レマセヌガ、現行法デ
十圓ト云フモノハ二十圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレラノ方ニ對シテ餘ホト殖エテ
居ルコトニナツテ居リマスガ、百圓取ツテ居ルモノガ十五年ノ在職テ罷メタ時ニ二百圓デ
今度ノ改正テ見ルト二百二十五圓ト云フコトニ見エマスガ、詰リ俸給ノ少イ者ノ方ガ
歩合ガ澤山殖エテ俸給ノ好イ者ノ方ガ却ツテ減ジテ居ルヤウナ譯デアリマス、チヨットサウ
云フ様ニ見エマスガドウ云フ都合デアリマスカ其邊ヲ……

○政府委員(澤柳政太郎君) 俸給百圓ヲ取ツテ居ル者ハ十五年ニシテ退職シタトキ
ニ成ルホド現在ノ制度ノ方ガ少シク餘計ニナルノデアリマス、併ナガラソレハ十五年ノ所ヲ
御覽ニナツタカラサウ云フ考ガ起リマスガ、四十年勤メタトシテ見マスルト百圓取ツテ居ル
人ガ四十年居ルト四百二十五圓ヨリナラヌノデアリマス、併ナガラ新イ規程ニ依リマスレバ
百圓取ツテ居ル者ガ四十年勤メレバ六百圓受ケルコトガ出來ルヤウナ譯デアリマシテ、現
在ノ規程ガ必シモ高イ俸給ヲ取ツテ居ル人ニ低クシタト云フ譯デアハナイ、大體ニ於テ特別
ナ俸給ニ於テハ十五年ノ所ハ少シ下ツテ居リマスガ、其以下ノ所ハ現在十五年ノ初リ
際ハ極低イ方ガ好クナツテ居リマス、丁度二十圓ノ所ガ現在ト同ジトデアリマス、同ジ
コトデアリマシタケレドモ先刻申上ゲマシタヤウナ増ス率ガ段々殖エマスカラ長ク奉職シ
テ居ル者ハ大變割ガ好クナルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ十二圓以下ノ十
圓デモ、尙ホ規則ニ依リマスルト十圓以下モ給スルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスルカ
ラ、縱シ八圓ノ人が居リマシテモソレハ十五圓ノ最下ノ恩給、俸給ヲ基礎トシタモノト

考ヘマスカラ十ハ圓ニ相當スルダケノモノヲ與ヘルト云フコトニナリマス、尤モ兎ニ角恩給ハ十五年勤メナケレバナラナイノデアリマスカラ、恩給ヲ受ケル位ノ年數在職シテ者ハ尠クトモ十五圓位ノ俸給ニハナラシメ居ルデアラウト云フコトデアリマス、兎ニ角先刻申シマシタ通り此二十圓以上二十五圓未滿ト云フ段カラハ少シク上ノ方ノ割合ヨリ好クナリ始マツテ居リマス、極點ニ至リマスレバ矢張り俸給ノ二分ノ一ト云フコトニナラシメ居リマス

○伊澤修二君 趣旨ハ宜ク分リマシタガ、例ヘバ五十圓以上五十五圓未滿ト云フモノハ即チ百五十圓ト云フコトニナラシメ居リマス、ソレデ五十五圓ノ人ニ對シテハ寧ろ是ハコ、減テ行ク、成ルホド一番終ヒ、四十年ニ至レバ四百四十圓ニナルカラ是ハ現在ヨリハ大變好クナルト云フコトハ明デアリマス、ソレガ平均何年クラ井ノ所カラシテ矢張り増シテ行クヤウニナリマスカ其平均デスガ、十五年ノ所アハ割合ガ惡ルイケレドモ四十年ニ到レバ割合ガ良イト云フコトハ明ニナラシメ居リマス、其平均何年位カラ増ス譯ニナリマスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) 唯今伊澤サンノ御話ノ五十圓以上五十五圓未滿ト云フノハ……五十五圓ト云フノハ上ノ方ニナルヤウデス……

○伊澤修二君 五十四圓デモ宜イ

○政府委員(澤柳政太郎君) 五十四圓デアリマスレバ、ソレハ少シ割合ガ惡ルクナリマスガ……

○伊澤修二君 概略デ宜ウゴザイマス

○政府委員(澤柳政太郎君) ソレハモウ五年クラ井經チマスルト、ソレカラ追々増スヤウニナリマス

○伊澤修二君 サウスルト今マデ十五年ト云フノガ此ニ五年勤メテ二十年勤メレバ工合ガ好クナルノデスナ

○政府委員(澤柳政太郎君) サウデス

○伊澤修二君 ソレハ大概平均五年クラ井デスナ

○政府委員(澤柳政太郎君) サウデス

○伊澤修二君 能ク分リマシタ

○委員長(伯爵徳川達孝君) 最早休憩ニ致シマスガ休憩中ニ政府ノ方デ刷物ヲ御同ハシニナルノハ退隱料ノ近イ所ノ額、全體幾ラ出テ居ル、ソレカラ在職何年ノ者ガ一番多イトカ、何年ノ者ガ少イトカ云フヤウナ簡單ナ表デ宜ウゴザイマス、給與ヲ受ケタ人ノ數トソレカラ金額ト云フヤウナ御調ガゴザイマスナラバ一ツ拜見シテ置キタイト思ヒマスカラ此コトヲ願フデ置キマス、ソレデ時刻デゴザイマスカラ是デ休憩ラシテ午後一時カラ開クコトニ致シマス

午後零時一分休憩
午後零時五十八分開會

○委員長(伯爵徳川達孝君) 是カラ午前ニ引續イテ委員會ヲ開キマス
○辻新次君 第九條ノ「市町村長ノ證明ニ依リ」ト云フコトヲ削ルト云フコトニナラシメ居リマスガ、是ハドウ云フ譯デスカ
○政府委員(松村茂助君) 唯今ノ御尋ネニ御答イタシマスガ御承知ノ通り從來ハ市

町村長ノ推薦ニ依リマシテ、府縣知事ガ小學校ノ教員ヲ任命スルヤウニナラシメ居リマシタガ、是ハ二十二年ニ小學校令改正ノ時カラデアリマシタカ、郡長ノ推薦ニ依リ府縣知事ガ任命スルコトニナリマシテ、諸リイッテモ小學校教員ノ履歷ノコトハ府縣知事ニ於テ承知シテ居ルコトデアリマスカラ、ソレヲ知ラナイ市町村長ノ手數ヲ煩ハス必要ハ無イ、斯ウ云フ所カラ取ツタデアリマス、ソレカラ先キホド徳川伯爵カラ御尋ネノアリマシタコトニ付イテ御答ヲ致シマス、市町村立小學校教員ノ中デ現ニ退隱料ヲ受ケテ居リマス者ハ二千六百二十七人デアリマス、其中十五年勤務イタシタ者ガ六百四十二人、十六年ノ者ガ五百三十五人、十七年ノ者ガ五百一十一人、十八年ノ者ガ四百三十二人、十九年ノ者ガ三百三十一人、二十年ノ者ガ三百六十八人、二十一年ノ者ガ三百七十八人、二十二年ノ者ガ三百七十八人、二十三年ノ者ガ三百三十三人、二十四年ノ者ガ四百五十八人、二十五年ノ者ガ四百人、是ダケデアリマス、唯今ノ調ハ三十九年十月ノ現在デアリマスガ、此次ニ申上ゲマス方ハ是ハ少シ調ガ古クデアリマスガ、現在ニ於テハ一番新イモデアリマスカラ、ソレヲ申上ゲマスガ、ソレハ三十七年度マデニ退隱料ヲ受ケテ居ル者、又退職給與金ヲ受ケテ居ル者、扶助料ヲ受ケテ居ル者、扶助金ヲ受ケテ居ル者、此者ニ對スル人員ト金額ヲ申上ゲマス、退隱料ヲ受ケテ居ル者ガ二千六百六十八人デアリマシテ、此金額ガ十一万七千二百二十六圓デアリマス、退職給與金ヲ二十七年度中ニ受ケタ者ノ數ハ千四百五十一人デアリマシテ、其金額ハ九万九千九百九十二圓デアリマス、又扶助料ヲ受ケテ居リマシタ者ハ七百三十二人デアリマシテ、此金額ハ一万三千六百七十九圓デアリマス、扶助料ヲ受ケタ者ハ二百五十九人デアリマシテ、此金額ハ一万千八百六十六圓デアリマス

○中島永元君 私ハ午前ハ後カラ參リマシテ御説明モ承ラズ質問モ色々出タデアリマセウガ、ソレモ伺ヒマセヌガ、此衆議院デ二十五圓以上、三十圓以上、二十五圓以上ト、二段ダケ殊更ニ中ヲ修正シタノハドウ云フ趣意デアリマスカ

○政府委員(澤柳政太郎君) ソレハ午前ニモ御質問ガアリマシテ御答ヲ致シテ置キマシタデスガ、モウ一應ザツト申シマスレバ此三段修正ヲ致シマシタノデスナ、其ノ所ヲチヨツト御覽ヲ願ヒマスガ、一番上ノ修正ノ舊ノ所ハ百五圓、其次ノ段ガ九十圓、此差ガ十五圓ニナリマス、ソレカラ其次ノ段ハドウナルカト申シマスト九十圓ト八十一圓ノ差ハ九圓ト修正ハ無イ、七十二圓ト六十圓ハ十二圓ノ差デアル、六十圓ト四十八圓ノ差ガ十二圓デアリマス、此ノ九圓、九圓ト云フ差ハ十二圓ノ下ノ方ノ差ト上ノ方ノ十五圓ノ差ト其間ニ挾マレテ居ル、ソレガドウモ不釣合デアル、矢張り九圓ノ差ヲ十二圓ツ、ノ差ニシタ方ガ宜カラウ、丁度下カラ修正シタ上マデ、十二圓ツツニ上ッテ行キマスノデスガ、ソレカラ上ガ十五圓、最上ノ分ガ三十圓ノ差ニナルト云フ、斯ウ云フヤウニシタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマシタ、原案ノ趣意ハ……原案モ全ク理窟ノナイ譯デアリマセヌガ、強ヒテ反對スル程ノコトデアリマセヌカラ同意ヲ致シタヤウナ譯デアリマス

○中島永元君 分リマシタ

○伊澤修二君 モウ意見ヲ申述ベテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵徳川達孝君) 如何デアリマスカ、御質問ガゴザイマスレバ今ノ際御

質問ヲ願ヒマス、モウ御質問ガゴザイマセネバ御意見ヲ御述ニナリマシテモ宜シウゴザイマス

○男爵野田裕通君 私ハモウ質問ハゴザイマセヌ

○委員長(伯爵德川達孝君) モウドナタモ御質問ガゴザイマヌケレバ是テ質問ヲ終リマス、ソレデチヨット申上ケテ置キマスガ、此ノ條數ハ澤山ゴザイマセヌカラ、御修正デモ無イヤウナラバ全體ヲ問題ニ供シマス

○伊澤修二君 私ハ大體ニ付イテ同意ノ意見ヲ申述ベタイト、思ヒマスソレハ段々諸君ノ御承知ノゴザイマス通り、小學校教員、今日ノ境遇ト云フモノハ實ニ憫ムベキ次第デアリマシテ、詰ル所固ヨリ教育事業デアリマスカラ、サウ非常ニ裕ナル俸給ヲ得ルト云フコトハ望ム所デアリマセヌケレドモ、兎モ角モ自分ノ品位ヲ保チ又子弟ノ教育ヲスル位ノ資産ト云フモノハ無クテハナラヌデアリマス、今日ノ所デアハ能ク皆申スコトニ、教育者ハ人ノ子ハ教育スルガ自分ノ子ヲ教育スルコトハ出來ヌト云フヤウナ悲惨ナル有様デゴザイマス、ソレ故ニドウカ俸給ヲ増シテヤリタイト致シマシテモ、又自カラ市町村ニハ市町村ノ經濟ガアリ、逆モ其功勞ニ相酬ユルダケノ俸給ヲ増スト云フコトモナカク、容易ニ行ハレマセヌデア今日ハ實ニ憫ムベキ有様ニナツテ居ルデアリマス、ソレデ吾モ數年來ドウカ教員ノ境遇ヲ良クシテヤリタイト云フコトハ常ニ考ニ置イタコトデアリマスガ、何分今日マデ其事モ拂、シク運バズニ居リマシタデアリマス、然ルニ此度ハ此ノ改正法律案ガ出マシテ、之ヲ以テシマスレバ極十分ナ目的ヲ達スルト云フマデニハ至リマスマイケレドモ、兎モ角モ其職ニ安シテ長ク勤メテ居リサヘスレバ先ツ自分ノ子孫ノ安全ノ計ヲ爲セルト云フコトニハナラウト存シマスカラ、此金額カラ申シマシタナラハ先刻來政府委員カラモ言ハレル通り決シテ大キナコトデアナカラウ、殆ド増減ハ無イト云フ位ノコトデアリマセウガ、併シ其安心ヲ買フト云フ力ニ於テハ非常ナ大ナルモノデアルト思ヒマスカラ、私ハ大體ニ於キマシテ本案ハ誠ニ結構ナ案ト思ヒマスカラ之ヲ贊成イタシマス

○男爵野田裕通君 伊澤君ノ贊成ニ同意ヲ致シマス

○辻新次君 私モ伊澤君ニ全然贊成ヲ表スルモデアリマス

○委員長(伯爵德川達孝君) ソレデハ別ニ外ニドナタモ御議論モゴザイマセヌケレバ採決ヲ致サウト思ヒマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、ソレカラ別表ハ衆議院ノ修正ヲ問題ニ供シマス、本案ニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵德川達孝君) 然ラバ可決ト認メマス、ソレデハ是テ委員會ハ終リマシテ散會イタシマス

午後一時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵德川 達孝君

委員

子爵大宮 以季君 子爵牧野 貞寧君 辻 新次君
男爵野村 素介君 男爵野田 裕通君 中島 永元君

國務大臣 伊澤 修二君

文部大臣 牧野 伸顯君

文部次官 澤柳政太郎君

文部書記官 松村 茂助君